

せきかわとうぶしももんぜんしゅうへん

関川東部下門前周辺地区

(新潟県上越市)

- 計 画 期 間 平成 20 年度～平成 24 年度
- 面 積 568ha
- 交付対象事業費 4,573.0 百万円
- 市人口 185,892 人

ポイント 居住環境の向上
「地域住民が主体となるまちづくり」の
実現

地区概要 「関川東部下門前土地区画整理事業」を中心に市街地環境
の改善を図るとともに、地域住民のまちづくりに対する
意識の向上と整備後の定住人口増加による継続的なコミ
ュニティの充実を図る。

目 標 周辺の公共公益施設を活かした居住環境の提供を図り、快適なまちづくりを実現する。

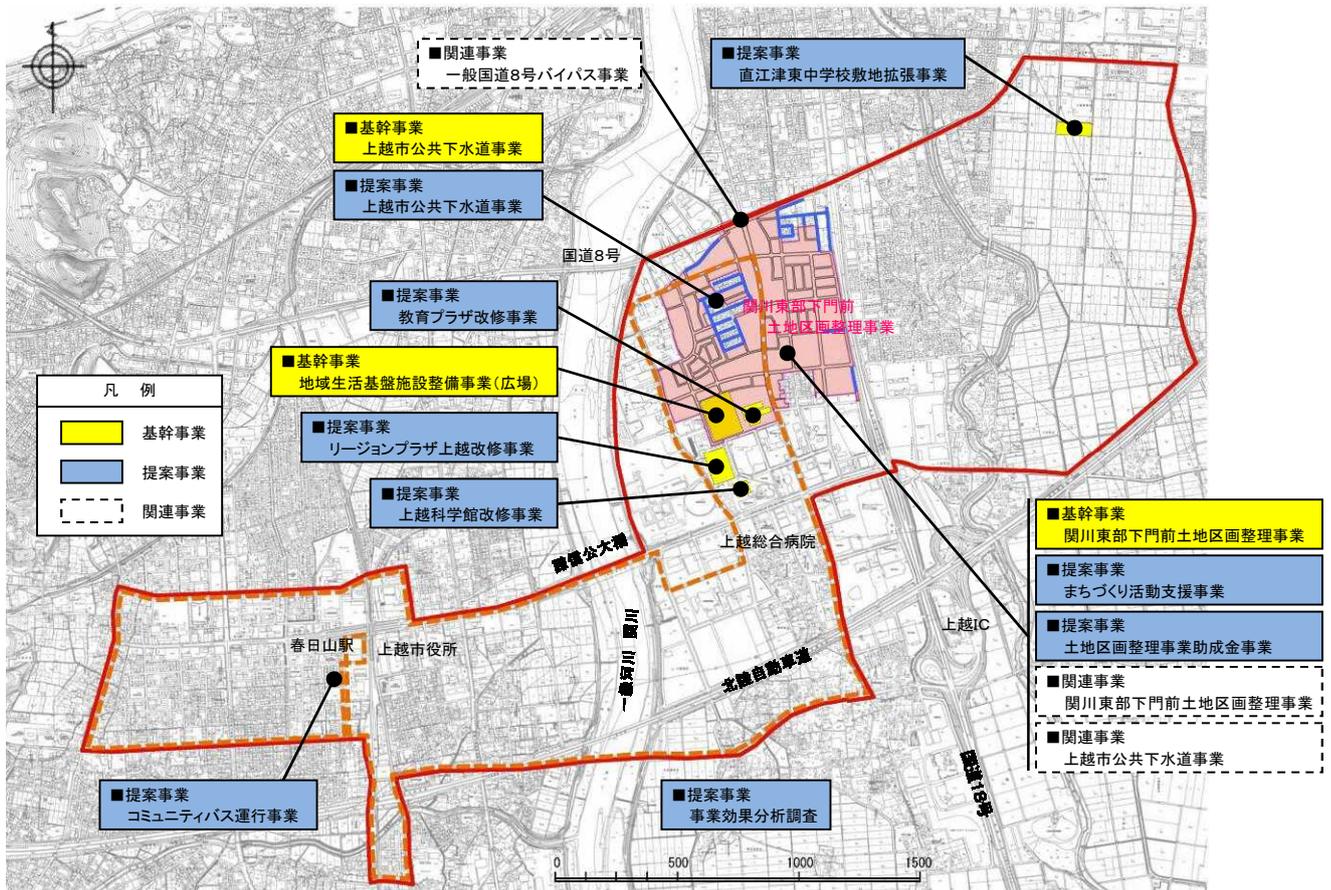
指 標 地区内に不足している都市基盤
施設を土地区画整理事業により
充実させると同時に、住民参加
のワークショップなどを実施し、
整備後の定住人口増加に伴う住
民のコミュニティの向上と継続
的なまちづくりができるような目標とした。

項 目	現況値 (年)	→	見込み値 (年)
居住人口の増加	970 人 (H19)	→	1,020 人 (H24)
定住者による満足度	16% (H19)	→	50% (H24)
まちづくりへの関心度	0 人/5 年 (H19)	→	300 人/5 年 (H24)

事業内容

基幹事業 (3,968.5 百万円) → 土地区画整理事業 (A=49.7ha)、地域生活基盤施設 (広場 A=19,500 m²)、
公共下水道 (L=872m)

提案事業 (646.5 百万円) → まちづくり活動支援、コミュニティバス運行、事業効果分析調査、公共下
水道、上越市土地区画整理事業助成金事業、教育プラザ改修事業、リージョ
ンプラザ上越改修事業、上越科学館改修事業、直江津東中学校敷地拡張事業



地区の現況と課題

【現況】本地区は、一般国道 8 号及び 18 号に接しており、北陸自動車道上越 IC の周辺でもあることから、交通の利便性に優れた位置にある。

地区周辺は、過去に行われた土地区画整理事業により、公共公益施設や商業・業務施設、住宅地が集積し複合的な拠点地域となっている。

しかし、地区内における下門前や塩屋新田集落では、周辺の急激な市街化に影響され、公共施設整備の遅れによる生活環境の悪化を招いており、地域の地権者からは、周辺との調和のとれた快適な居住環境と魅力あるまちづくりの気運が高まっている。

【課題】急激な市街化に伴う、幹線道路の交通渋滞緩和や歩行者の安全の確保、そして近接した公共公益施設を考慮した計画的な土地利用や市街地の環境整備を図ることが喫緊の課題である。

提案事業の特徴

まちづくり活動の支援

住民の意識向上とコミュニケーションの充実、そして継続的なまちづくりを行うため、区域内で実施する土地区画整理事業に合わせ、公園整備等におけるワークショップや地域の良好なまちづくりを目指し土地利用の検討・勉強会の開催などを行う。

コミュニティバス運行

当地区と直近駅（春日山駅）のアクセスなど、市内の公共交通を単に移動制約者の移動手段として捉えるのではなく、誰もが便利に移動でき、持続可能な地域を実現するために、公共交通体系の検討を行う。

公共下水道

生活環境の改善や生活衛生の向上を図るため、公共下水道整備を行う。

土地区画整理事業助成金事業

公共施設を整備し宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を施行する土地区画整理組合へ助成金を交付する。

教育プラザ改修事業、リージョンプラザ上越改修事業、上越科学館改修事業、直江津東中学校敷地拡張事業

周辺の公共公益施設と連動したイベント対応や公共公益施設を活かした居住環境を提供するため、各施設の改修を行う。

計画策定プロセス

地権者の勉強会

土地区画整理事業の実施にあたり、単に公共施設の整備だけでなく、「自分たちのまち」として誇りに思えるよう、そして継続的にまちづくりが行えるよう今後、勉強会などを重ねていく。

地区の整備前状況（幹線道路）



歩道がない通学路



整備後状況（歩道整備完了）



地区の整備後状況（公園及び宅地）

